

経営支援部の事業紹介

経営支援部事業概要(令和7年度)

畜産コンサル・簡易分析

【畜産コンサル】

総指導件数(延べ236件)

○コンサル事業(延べ88件)
(本人又はJA等関係機関から
申込のあった経営を対象とした
畜産コンサルの実施)
肉用牛(延べ33件)
養 豚(延べ45件)
酪 農(延べ10件)
※地域相談員活動を含む

○畜産特別資金借受者指導等
(延べ148件)

肉用牛(101件)
養 豚(39件)
酪 農(8件)

【簡易分析】

○経営支援事業参加者数
肉用牛繁殖(864戸)
肉用牛肥育(193戸)
酪農(48戸)
※ 年1~2回定期発行と随時提供

○肉用牛繁殖に係る産地分析帳票・
データ・集計資料提供 (延べ
10,904件)

全国域コンサルタントとの連携

○全国域コンサルタント
〈肉用牛繁殖〉
松本 大策 先生
(専門コンサル・獣医)

〈肉用牛肥育〉
中川 徹 先生
(茨城県畜連会長)

〈酪 農〉
中田 健 先生
(酪農学園大学 教授)

〈養 豚〉
大竹 聡 先生
(専門コンサル・獣医)

○濃密指導(延べ12戸)
肉用牛繁殖 2回(延べ2戸)
肉用牛肥育 2回(延べ2戸)
酪 農 2回(延べ6戸)
養 豚 2回(延べ2戸)

○指導人材育成講習会 3回
(延べ87人)
肉用牛繁殖 0回(0名)
肉用牛肥育 1回(27名)
酪 農 1回(12名)
養 豚 1回(48名)

農家交流会・畜産女性活動支援

11/25 後継者交流会32名
※R8は12月頃開催予定

1/28 経営者交流会37名
※R8は1月頃開催予定

8/26~27
モ-母ちゃん県域大会118名
※R8は11/30開催予定

県外視察研修1回21名
(鹿児島県)
※R8は2月頃実施予定

耕畜連携(堆肥・コントラクター)



・堆肥生産・利活用支援件数 16件(延べ16回)
・研修会・現地視察・意見交換会等
堆肥16回、コントラ16回
・堆肥等成分分析 29件

食育体験教室



12/6 農業高校生と畜産女性による小学生親子
向けの肉用牛に関する食育体験教室
※R8は12月頃開催予定

畜産コンサル体制強化事業

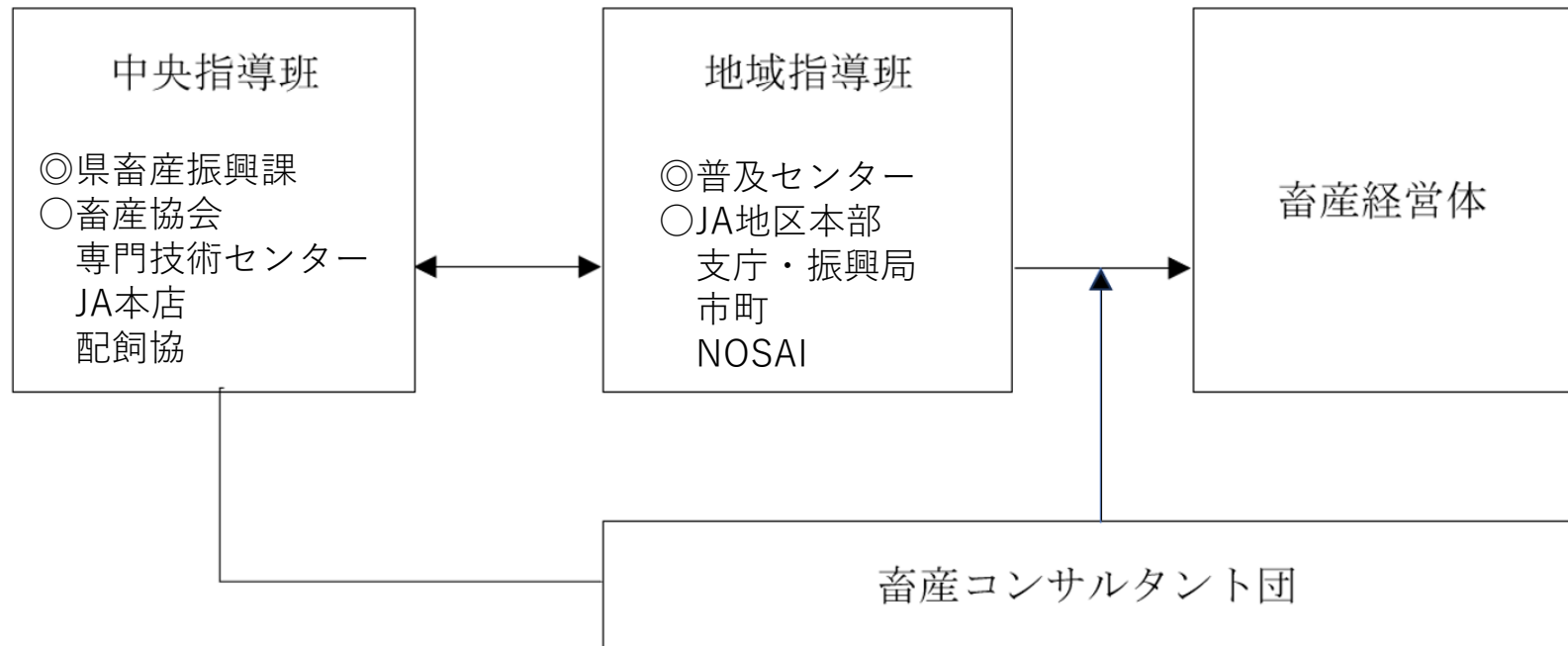
令和8年4月1日に「畜産コンサル体制強化事業要領」が新たに制定されました

趣旨:本県経営体の安定的な経営継続を支援することを目的として畜産コンサルテーションの実施を推進し、経営体の課題解決に資するとともに経営体自らの経営改善努力を助長するものとする。

また、畜産経営技術の高度化に対する支援指導(以下「指導」という)を効果的かつ効率的に実施するため、県域又は地域の関係機関・団体等で組織する支援指導推進体制を整備し、この活動を支援する

協会は、県からの委託により事業を実施しています

1 支援指導推進体制図

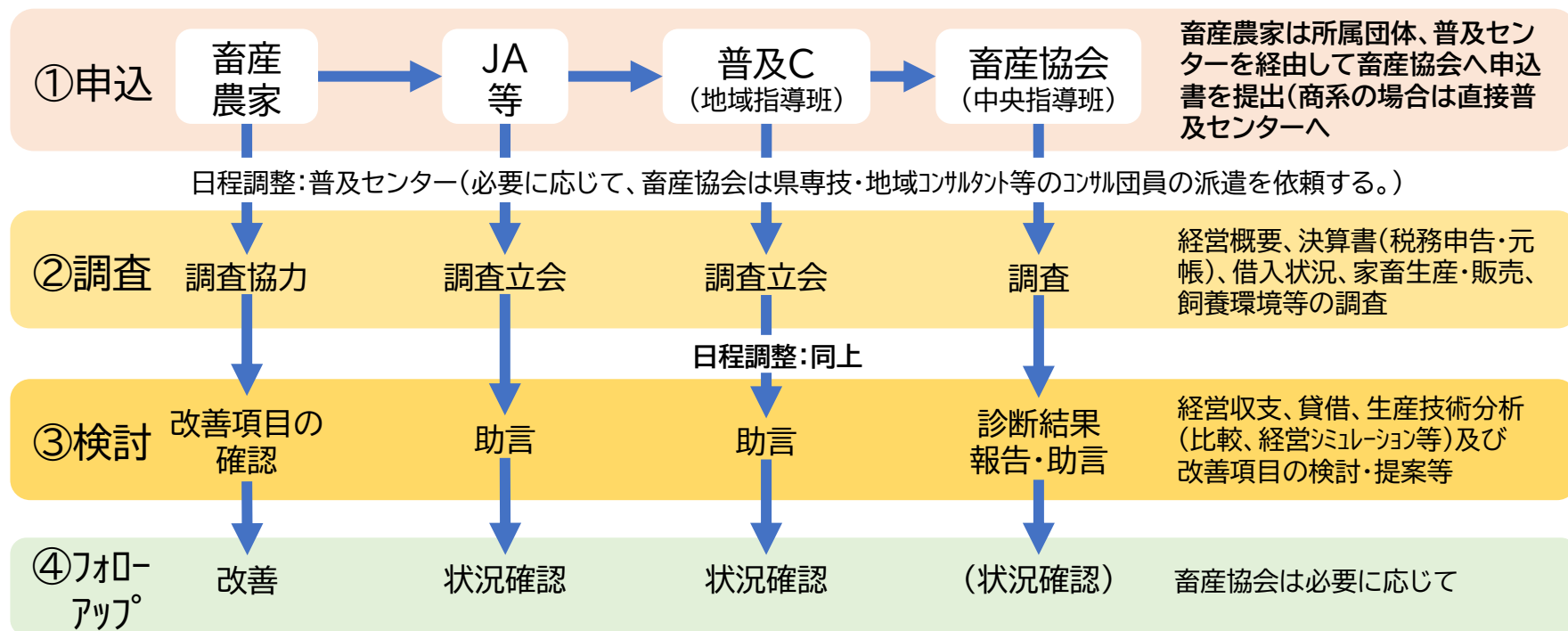


メニュー	内容
個別指導 ※ (生産・経営改善導)	規模拡大や改善が必要な課題を持ち、 <u>改善意欲の高い経営体を対象</u> に、畜産コンサルを実施。 R7年度からJA主導で開始した「 和牛コンソーシアム 」では、経営分析を実施（35戸）。 また、数戸の農家が切磋琢磨するため、成績を比較検討する集団指導も可能。
グループ指導	優良農家の発表や交流会、研修会を開催。 (経営者・後継者等・女性交流会、グループ研修会等)
地域データベースを活用した支援	肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農を対象に簡易分析を実施することで、 <u>農家自身の経営改善</u> を促す。 また、関係機関へ分析結果を共有することで、 <u>地域における問題点の把握</u> と、 <u>農家への経営改善指導</u> に活用。

※ 個別指導農家は、毎年地域指導班による審査を実施
実施期間は指導開始から原則３年間とし、中央指導班が認める場合は必要に応じて期間の短縮・延長を可能とする（最長５年間）

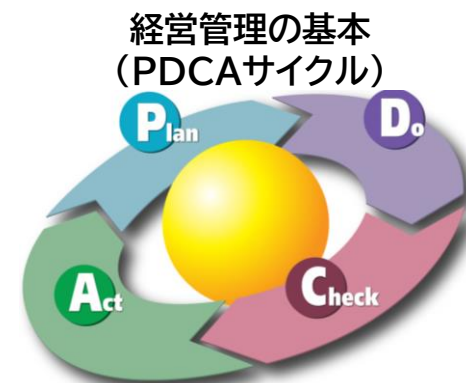
協会では、本事業以外にも畜産コンサルを実施する事業があります
(畜産特別資金借受者指導、公庫の課題解決サポート事業 等)

畜産コンサル体制強化事業 個別指導の流れ



※ 畜産コンサル負担金(肉用牛繁殖経営は支援事業加入が必須)

畜種	コンサル負担金	調査	フィードバック方法			各支援事業（年会費）			
			個別	集団	郵送	期首頭数	肉用牛(繁殖)	酪農	肉用牛肥育
肉用牛酪農	7,000円	○	○	-	-	～9頭	2,000円	3,000円 (+JA本店 3,000円 助成有り)	無料 (テスト期間)
	6,000円	○	-	○	-	10頭～	3,000円		
	5,000円	○	-	-	○	30頭～	4,000円		
	4,000円	-	○	-	-	50頭～	6,000円		
	3,000円	-	-	○	-	100頭～	9,000円		
	2,000円	-	-	-	○	肉用牛(繁殖)コンサルは、加入が必須条件			
養豚	10,000円	○	○	-	-	養豚は支援事業なし			



Plan(計画)→Do(実行)
→Check(評価)→Act(改善)
畜産コンサルはCAPD

経営支援事業について(畜産コンサル体制強化事業のうち地域データベースを活用した支援関連)

農家自らが経営状況を客観的に把握し経営改善するため、既存データを活用して「簡易分析帳票」を提供する事業です。

関係機関が行う農家指導や各種事業報告等でも活用されています。

また、肉用牛繁殖については、事業未加入農家にも1枚目のみ(産地分析帳票と呼んでいます)を提供しています。(ただし、本人かJAの了解が必要)

畜種	帳票提供回数	技術分析	収支分析	加入者年間負担金	産地分析提供	R7戸数
肉用牛繁殖	年2回 (6月・12月)	○	—	期首母牛頭数により 2,000円～9,000円	○	864戸
肉用牛肥育	年1回(3月)	○	○ (県全域対応可)	無料(テスト期間)	—	193戸
酪農	年2回 (6月・12月)	○	○	一律3,000円 ※JA本店3,000円助成	—	48戸

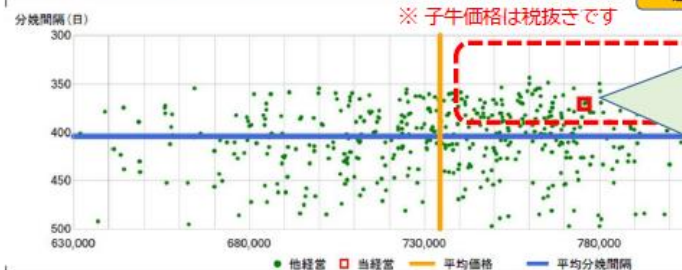
地域で「帳票活用研修会」も開催できます。ぜひ、事業推進に御協力ください。



肉用牛経営支援事業を活用して

我が家の生産状況を チェックしよう！

＜ 分娩間隔と販売価格の分布図 ＞



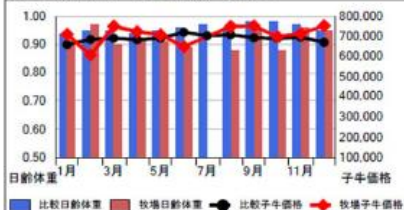
産地分析帳票

分娩間隔×販売価格

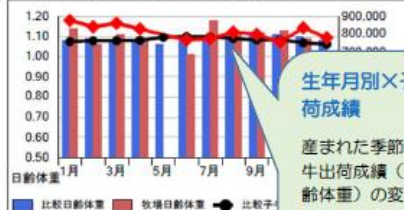
□が当経営で、他の点が管内の農家となっています。

青の横線が平均分娩間隔で、橙の縦線が平均価格なので、赤点線内がどちらも平均以上です。

＜ 生年月別 子牛出荷成績 (雌) ＞



＜ 生年月別 子牛出荷成績 (去勢) ＞

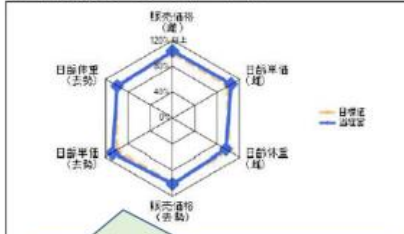


生年月別×子牛出荷成績

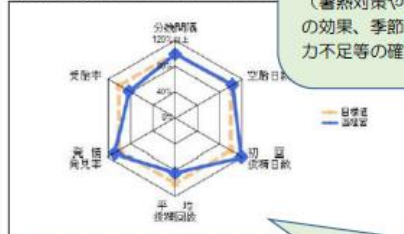
産まれた季節による子牛出荷成績 (価格と日齢体重) の変動や地域比較をみます。

(暑熱対策や保温対策の効果、季節的な労働力不足等の確認)

＜ 子牛成績レーダーチャート ＞



＜ 繁殖成績レーダーチャート ＞



子牛成績レーダーチャート

目標値と比較して、どの項目が優れ、どの項目に注意する必要があるかが分かります。

(性別毎の日齢単価、日齢体重、販売価格)

繁殖成績レーダーチャート

目標値と比較して、どの項目が優れ、どの項目に注意する必要があるかが分かります。

(分娩間隔、空胎日数、初回授精日数、平均授精回数、発情発見率 (発情に合わせた授精実施率)、受胎率)

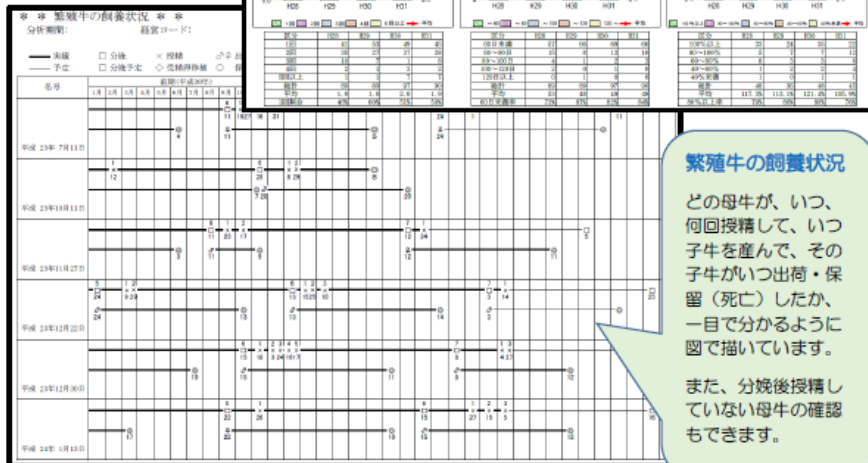
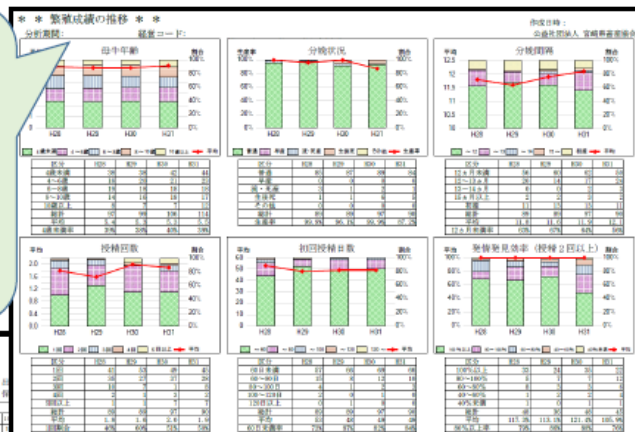
「肉用牛経営支援事業」に参加しよう！

参加すると、様々なタイプ(全9タイプ)の帳票を提供します。今回は2つの帳票について詳しく紹介します。

繁殖成績の推移

分析年を含む4年間の繁殖成績がどのように推移しているのを見ます。項目は、母牛年齢、分娩状況、分娩間隔、授精回数、初回授精日数、発情発見効率 (授精2回以上) です。

直近分析では、本年の予測分析も可能です。



繁殖牛の飼養状況

どの母牛が、いつ、何回授精して、いつ子牛を産んで、いつ子牛がいつ出荷・保留(死亡)したか、一目で分かるように図で描いています。

また、分娩後授精していない母牛の確認もできます。

事業参加負担金(年会費)

成雌牛頭数(分析頭数)	9頭以下	10~29頭	30~49頭	50~99頭	100頭以上
生産技術分析	2,000円	3,000円	4,000円	6,000円	9,000円

帳票は、基本的に年2回提供で、1回目は12月頃(申告準備用)、2回目は5月頃(前年確定版と速報版の2期間分)、郵送いたします。

また、随時発行も追加料なしで承っておりますので、事務局まで御連絡ください。

～ お問い合わせ先 ～

最寄りのJA または 宮崎県畜産協会 経営支援部 TEL:0985-41-9302まで